



第三中学校だより

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1

TEL 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>

相談室 TEL048-461-6698

令和6年10月1日発行

「失策」と「愚策」

校長 近藤 克代

管理棟の前、駐車場沿いに金木犀の木が植えてあります。毎年、この時期になるとオレンジ色の花が咲き、校長室の窓を開けると、金木犀の香りで深まる秋を感じることができますが、今年の開花は少し遅いようです。調べてみると、気温が高いほど開花時期が遅くなり、低くなると開花が早くなるそうなので、

なかなか進まない季節の移り変わりに、金木犀のように、涼しい秋の陽気を私たちも待ち望んでいる今日この頃です。左の写真は、本校に群生している彼岸花です。昨年度の学校だよりにも紹介し、新校舎建設のために開花数は減りましたが、今年もたくましく、きれいな赤い花を咲かせています。ある日の埼玉新聞に、農研機構と筑波大学の研究チームによる2020年の研究で、花の鑑賞は脳の活動に影響を与え、心理的、生理的に生じたストレスを緩和させることを実証し発表したと掲載されていました。自然に植生された草木や花は、その形、色彩などから私たち人間に様々な影響を与えるようですが、花を見てほっと一息つける心に余裕が必要であると、実証結果が示しています。これから、秋が深まると同時に来年度に向けた準備が一斉に始まります。花を見て癒され、心に余裕を持ち、見通しを持って考え、行動をしたいものです。

さて、私事ではありますが、私はスポーツ観戦を趣味とし、根っからの野球ファンです。そこで、今回のタイトルにも記した「失策」＝“エラー（失敗）”は野球で使用されますが、ホームランやヒットは投手（野手）の失策であり、三振はバッターの失策で、盗塁も投手や捕手の失策です。という事は、私は選手の失策で成り立つゲーム（試合）に、一喜一憂しながら楽しんでいるのです。成功することが絶対的に求められる職業や事案もありますが、物事を進めていく過程には失策（失敗）はつきもので、誰もが幾度となく失敗を経験してきました。ゆえに、大切なのは、「失敗」という結果は、挑戦することを行った成果のひとつであり、挑戦して失敗することは決して恥ずかしくないということを経験から学んでほしいと願っています。一方の『愚策』の主な意味は「愚かな計画」ですが、私の解釈は「実態把握を怠り、見通しの甘い計画」と捉えています。本校の全ての教育活動には必ず目的と目標があり、それを定める根拠には生徒の実態把握と、教育計画です。右の写真は、先月実施された1年生の校外学習です。今年も千葉県野田市の清水公園で飯盒炊さんを実施しました。協力して火をおこし、米を炊き、カレーを作る。文面にすると単純な作業に見えますが、班で試行錯誤しながら作ったカレーの味は格別でした。そして、今年度から2年生の林間学校を冬季から秋季に変更し、和光市と古くから交流（給食で毎月10日に十日町産「こしひかり」を食べています）のある新潟県十日町市に赴き、体験型宿泊学習（5地区48世帯による農村ホームステイ）を実施します。本校として、更には埼玉県公立中学校として初めての試みであり、新たな挑戦でもありますが、教員だけではなく実行委員の生徒の前向きな姿勢や、各係が責任を持って準備している様子から、校外学習も林間学校の計画も決して愚策ではないと確信し、生徒の更なる成長の機会（挑戦から始まる機会）を大切にしたいです。

10月は、どの学年にとっても活動や経験を通して大きく飛躍できるチャンスがある月です。生徒一人一人と学年・学校全体の更なる挑戦が進められるよう努めてまいります。

